

みなさん、こんにちは。保護者の皆様、先週の三者面談に引き続き、御多忙の中、本日の説明会に来校していただきありがとうございます。

生徒の皆さん、一生に一回、ワクワクしているでしょう。その気持ちわかりますよ。私からは、この場をお借りして、修学旅行で大切にしてほしいこと、4つお話をします。

①修学旅行がどのような場なのか理解しておく

修学旅行がどのような場であるかという点、日常生活・各教科で学んだことを活用する場である。いわゆる、現実社会でのパフォーマンスの場であると思っています。

とはいっても、修学旅行は、ただ単に旅行に行くのではなく、教育活動としての位置づけなので、かなり制限がかかります。日頃学校で過ごす時間とは違う特別な時間を仲間と共有できます。だから消灯時間もあるし、起床時間も早いし、行く場所もある程度決まっていますし、公共のマナーも守らなければいけません。しかし、その制限の中で思いっきり楽しむことが重要なのかなと思います。

海外旅行に行ったり、留学したりすると「日本の良さが分かる」と言う方が多いと思いますが、それと同様のことが修学旅行でも起きるのだと思います。

他の都道府県に行くことで、その土地の素晴らしさを学ぶこともできます。また、歴史を学んだり、美味しい郷土料理を食べたりすることもできます。しかし、それ以上に、地元の素晴らしさに改めて気が付くことができたり、地元の特色を再発見できると思うし、この体験学習でふだんと違う刺激を受けるって君たちの人生にとって良いと思うのです。体験学習は、永遠に未完成なのです。だからこそ、より良い自分を目指して欲しいと思います。

②修学旅行にはルールがあります。

最初にもいいましたが、ただの旅行ではなく、教育活動の一環であるため、生徒が自由に目的地で過ごす訳にはいきません。なのである程度は行く場所は決められていますし、自主研修もグループで行動しなくてはなりません。その中でいかに楽しめるかが肝だと思っています。将来、どのような時でも何かしらのルールがあると思いますし、そのルールの中で最大限に楽しむ方法、ルールの中で最大限のパフォーマンスを発揮することが大切だと思っています。

③今までになかった、USJでは人を楽しませること喜ばせることを学んでほしい。

ユニバーサルスタジオジャパンでは、確かに、この場所は、おもいっきり「楽しみたい」「遊びたい」の気持ちが大きくでてしまいますが、「心から楽しめる」で「気持ちよく遊べる」のは、キャストの方々の気配りが最高のものだからです。働き方、接客の仕方一つでも学んでもらえたらとおもいます。

④事前事後の学習が大事！

修学旅行は、体験を通して、多くのことを学んでいきます。また、それと同じくらいに大切なことがそれらの事前学習と事後学習です。事前学習を通して、準備をし、しっかりとした「問い」を立ててほしいと思います。予習と同じで、どんなこと学ぶのか概観を見ておくだけでアンテナの張り方が違ってきますし、入ってくる情報量も異なってきます。何を見てくるのか、どんな体験をしたいのか、体験を通してどんなことを獲得していくのか準備をして臨んでほしいと思います。ゴールはめざす生徒像です。これで校長の挨拶を終わります。